

令和6年第2回定例会一般質問通告事項

6 月 20 日	村上久美議員（公明党）	質問方式：一問一答方式
	<p>1 オストメイト（人工肛門、人工膀胱）の日常生活用具給付基準額について</p> <p>(1) 現在対象となる方は、何名いらっしゃいますか</p> <p>(2) その方々のストーマの基準額を 3,000 円増額した場合、その方々への公費負担額はどのようになりますか</p> <p>(3) 災害時、オストメイトの方がストーマ装具を自分で持ち出せなかったり、不足した場合関係機関との連携支援が必要となりますが、市の取組を教えてください</p> <p>2 市役所窓口で軟骨伝導イヤホン導入について</p> <p>(1) 現在尾道市の窓口で難聴者対応はどのようにされていますか</p> <p>(2) 今後尾道市の窓口で軟骨伝導イヤホンの導入について、どのようにお考えですか。</p> <p>3 HPVワクチン接種の重要性について</p> <p>(1) 現在国内でHPVワクチンの男性への独自助成を開始した自治体はどのくらいあるのでしょうか、令和6年度より前に開始した自治体と、今年度より開始した自治体で教えてください</p> <p>(2) 令和5年度より男性へのHPVワクチン独自助成を実施した埼玉県熊谷市では、小学6年生から高校1年生までの男性 4,143 人のうち2%の接種を想定し、事業費約 450 万円を計上し開始したと報道されておりました。本市で同様の想定で独自助成事業を計画した場合、対象者は何人で、かかる費用はいくらになるのでしょうか</p> <p>(3) 女性へのHPVワクチン接種に対する正しい理解や接種が進んでいない現状を踏まえると、キャッチアップ接種期間を延長する必要があると考えますがいかがでしょうか。キャッチアップ接種の期間延長について国の検討状況や市の見解をお伺いいたします</p>	